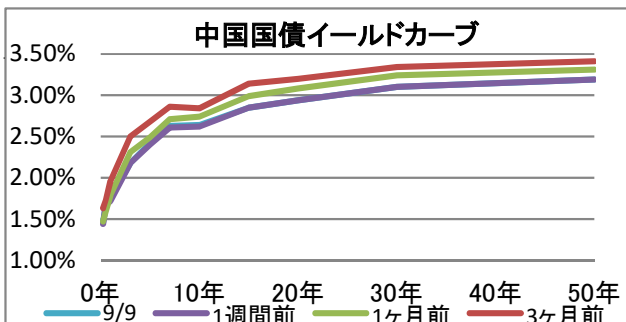
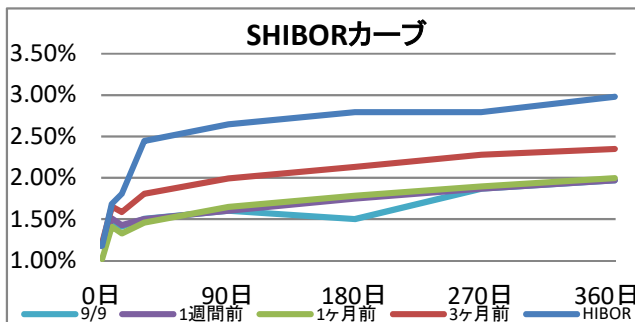


基準レート		2022/9/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9098	+0.0181
	JPY/CNY	4.8238	-0.1141
SHIBOR	3M	1.6000%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.64%	+0.02%
上海総合指数		3,262.05	+75.57



(1) 概況

国際金融市場では、ECBの+0.75%の利上げとFRBの金融引締め政策加速への懸念から債券利回りが大きく上昇し、株式市場も下落する展開が続いたものの、過度の懸念が後退する格好で値ごろ感から株式市場、債券市場ともに調整の買戻しが入っている。

中国金融市場でも、コロナ感染拡大による経済への影響が懸念され、貿易収支、インフレ指標、新規融資等の経済指標も減速傾向や資金需要の回復の鈍さを示す内容だったものの、政府の経済支援策への期待から株式市場は反発し、債券利回りは利率債を除き低下を続けている。外為市場では、1ドル=7元目前までドルが買い進まれたものの、当局の急速な元安への懸念を受けて6.92台まで低下して週末を迎えている。

中国では、中央政治局会議で10月の共産党大会での共産党規約改正について議論され、国務院では政策説明会を開催し、常務会では雇用確保を意識した追加経済政策（失業給付、インフラ投資等融資への財政による利子補填、イノベーション企業に対する税制優遇措置等）を決定し、国家開発委は香港と第5回香港の「一帯一路」参加支援会議を開催している。中国人民銀行は15日からの外貨預金準備率引き下げを決め、デジタル金融フォーラムにおいてデジタル人民元の標準化と既存電子決済の接続による消費者利用を促進する方向性を示し、証監会は日中資本市場フォーラムでのETF取引拡大や金融先物分野での協力を支援。また、クレディスイスは中国での合併証券会社の完全子会社化を決めている。なお、国際金融協会（IIF）によると、8月も中国債券市場から国外資金の流出が続いている模様。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元に対し、新規リバースオペ100億元による中立調節を継続。

(3) 主な経済指標

- ・PPI (8月) は、前年比+2.3% (7月、+4.2%) と10ヶ月連続の上昇幅縮小となり、前月比では2ヶ月連続マイナス。これは燃料を含む広範な原材料価格の低下によるもので、生活品価格も前月比でマイナスに転じている。購買価格の上昇幅が出庫価格を上回る状況は続いているものの、両者の差は縮小しており、企業収益への悪影響も若干緩和。
- ・CPI (8月) は、前年比+2.5% (7月、+2.7%) に上昇鈍化。これは、食品価格が高止まりする一方、エネルギー資源価格調整によるガソリン等の関連価格の上昇抑制による。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1730%	1.2000%	1.1300%	
1W	1.4760%	1.6000%	1.5500%	
2W	1.4090%	1.5500%	1.4700%	1.2000%
1M	1.5030%	2.4000%	1.5600%	1.5500%
3M	1.6000%	2.0000%	1.8500%	1.5700%
6M	1.5000%	2.9500%		1.7800%
9M	1.8700%	2.3000%		1.8700%
12M	1.9690%			1.9600%

四半期末越えとなる1ヶ月の金利水準は上昇しているものの、長めのターム物は出合いも限定的での金利水準にも変化はない。ターム物は1ヶ月の1.8%前後での出合いを除き限定的。

NCDも四半期末とその後の政治イベントを控えて動きは限定的となっており、ターム物は1ヶ月が1.5%台半ば、3ヶ月が1.5%台後半、6ヶ月が1.7%台後半、1年が1.95%前後を中心に出合っている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	2.28%	2.30%
1W	2.40%	2.42%
1M	2.80%	3.00%
3M	3.30%	3.40%
6M	3.60%	3.80%
12M	3.80%	4.10%

ECBが+0.75%の利上げを実施し、FRBの積極利上げ懸念による債券利回りの上昇も続いており、ターム物の金利水準は高止まり。中国国内市場では、引き続き短期取引中心でターム物は1ヶ月の3.0%近辺での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.46%		1.57%	1.69%	1.88%
6M	1.66%		1.84%	1.86%	2.05%
1Y	1.76%	1.93%	1.99%	2.03%	2.29%
3Y	2.18%	2.43%	2.45%	2.57%	2.96%
5Y	2.42%	2.61%	2.87%	2.89%	3.59%
10Y	2.64%	2.90%	3.26%	3.42%	4.19%

債券市場では、欧米での債券利回り上昇を受けて利率債の利回りが上昇したものの、経済指標が鈍化傾向を示していることもあって信用債を中心に利回りは低下を続けている。米国債利回りはFRBとECBの積極利上げへの懸念から利回りが一段と上昇しており、10年米国債利回り（3.31%、+12bp）の中国国債利回り（2.64%、+2bp）の上回り幅は+67BP（前週+10bp）に拡大している。

イールドカーブは、信用債を中心に中長期で利回りが低下したことからフラットニングに転じており、クレジットスプレッドは利率債の利回りの上昇と信用債利回りの低下により縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-14.5 / -14.0
1M	-55.0 / -53.0
3M	-238.0 / -236.0
6M	-524.0 / -526.0
9M	-817.0 / -815.0
12M	-1085.0 / -1080.0

対ドル基準レートは6.9098と前週末比+181pipsのドル高元安、対円基準レートは4.8238と同-1141pipsの円安元高と、対ドルでは急速に進む市場でのドル高元安を牽制するように元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、週半ばには1ドル=7元が意識されて一時6.98台までドルが買い進まれたものの、国外市場でドル高に調整が入ると上値が重くなり、6.92台に戻して中秋節の連休を迎えている。

先物は、米中の金利差拡大懸念から1年物が-1160程度まで低下したものの、その後はドル高が一服したこと等から小幅な値動きに終始し、1年物も-1000台に戻している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.72%		1.37%
6M	1.80%	1.80%	1.52%
9M	1.85%	1.93%	1.59%
1Y	1.92%	2.05%	1.65%
3Y	2.20%	2.52%	1.77%
5Y	2.43%	2.84%	
7Y	2.58%	3.02%	
10Y	2.73%	3.21%	

スワップ金利は、基準金利に大きな変化がない中で利率債利回りが小幅上昇したことを受けて小幅な上昇に転じた。短期金利および債券利回りの水準に大きな変化がなかったことから、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドにも概ね変化なかった。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入